



HOUSE PLUS

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成26年12月17日

受付日：平成26年9月12日
受付番号：HP14-KT137

接合部性能試験成績証

東京都港区芝5-3-3
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股孝志

1. 接合金物名称	2×4用高耐力ホールダウンHi52
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	① 枠組壁工法建築物の接合部の「基準許容応力」及び「基準終局耐力」を試験により評価する。 ② 「基準許容応力」から「降伏耐力」を算出し、「基準終局耐力」との比較結果より、「短期許容耐力」を確認する。
4. 試験内容	たて枠端部接合部(アンカー型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は2007年枠組壁工法建築物構造計算指針による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「2×4用高耐力ホールダウンHi52」 材 質：SS400 (JIS G 3101)*1 寸 法：(外形) 45mm×53mm×550mm 板厚t=4.5mm 接合具用孔18-φ6.5mm</p> <p>2) 接合具</p> <p>「木ねじ TB-101」18本 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23% Mn;0.70~1.00% P;0.030%以下 S;0.050%以下 寸 法：φ6.2mm, L=100mm 表面処理：エコートWH*2処理</p> <p>「丸座金 φ37」 材 質：SS400 (JIS G 3101)*1 寸 法：φ37mm(内径φ17mm) 板厚t=6.0mm 表面処理：カオチン電着塗装</p> <p>「両ねじボルト M16」1本 材 質：強度区分6.8を満足する炭素鋼(JIS B 1180及びJIS B 1051) 寸 法：M16 L=400mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2 C(JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>「六角ナット M16」1個 材 質：強度区分6を満足する炭素鋼(JIS B 1181及びJIS B 1052) 寸 法：M16 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2 C(JIS H8610及びJIS H 8625)</p> <p>3) 枠組材料</p> <p>たて枠：38mm×89mm×1600mm S-P-F 甲種2級 3本 含水率：12.0~16.0% 全乾密度：0.46~0.53g/cm³</p> <p>4) その他</p> <p>たて枠同士の接合：太め鉄丸くぎCN-90 12本(片面6本)打ち @300千鳥</p> <p>*1 JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材 又は SS400相当材 *2 エコートWHは、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標</p>
6. 試験条件等	試験体の固定：両ねじボルトM16(強度区分:6.8)を用いて固定用治具に手締めにて固定した。
7. 試験結果	基準許容応力 35.17 kN、基準終局耐力 86.28 kN、短期許容耐力 52.75 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成26年9月19日、10月16日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 土屋 江利佳

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。